

(1面からの一般質問の続き)

### テロ行為が発生すると大惨事

今後の5年間の「入間市前期基本計画(素案)」は、テロ行為の可能性を認め、「テロ行為から安全なまちづくり」を目指しています。

私は、東町住宅や豊岡第一病院に隣接している「自衛隊の大燃料施設」に対し、テロ行為が発生したら、病院・市民・通勤電車を巻き込んだ大惨事が予想されます。市民を守る責任がある市長としてどう対応するのか、と質しました。

田中市長は、「テロ行為の現実性は認めているが、実際には起きないと思う」と最後まで無責任な答弁に終始しました。

### 広大な敷地にビックリ!

工事中敷地は165m×245mもあり、膨大な量の危険なジェット燃料などが置かれることが予想されます。

まったく情報をつかんでおらず、自衛隊に何も条件が付けられない市長では、市民の安全は守れません。



燃料ドラム缶を点検する入間基地の燃料小隊

2018年に情報収集機として入間基地に配備予定のC-2飛行機(C-1の1.5倍。飛行距離6500km)



### 完成までに報告書を作成

私は、全国に誇れる『100坪以下減歩なし』などのすぐれた施策による「武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業の報告書」を作成すべきと質しました。

田中市長は、土地区画整理事業で人口が2倍になるなど素晴らしくなった。平成30年の事業完成までに「藤沢まちづくり研究会」の協力を得て作成すると約束しました。

区画整理事業前の写真や資料がありましたら、私までご連絡ください。



駅に向かう藤沢中央通り線

## 東町の住宅や病院前、西武線沿いに自衛隊の大規模燃料施設を建設

暖かい春を迎え、元気でお過ごしでしょうか。

3月議会の田中市長に対する私の一般質問を報告します。戦争法(安保法)による「航空自衛隊入間基地の変化」等は次の通りです。ご意見ご指導をお待ちしております。



建設中の大規模な「自衛隊燃料施設」

### 住民に知らせず条件なしで

豊岡第一病院の北側、西武線沿いに、大規模な「自衛隊燃料施設」を建築中です。

私は、航空自衛隊入間基地内の入間市分に変化が大きい「自衛隊燃料施設」が建設されるに当たり、市民の不安を取り除くために、自衛隊にどのような要請をしたのか。工事内容を示す看板がない、近隣の住民に説明し、理解を得ているのか、と質しました。

田中市長は、工事が始まって初めて知った。工作物の申請は狭山市に出され、知らなかった。条件は何も付けていないと無責任な答弁でした。

### 燃料入りのドラム缶山積に

建設中の「自衛隊燃料施設」は基地の奥から大規模化し、東町住宅街の隣接地に移動させています。

私は、病院側に「燃料タンク置場」「ボンベ庫」が作られ、広いドラムヤードには燃料の入ったドラム缶がたくさん山積みされることになるのか、と質しました。

田中市長は、自衛隊から調査さえしておらず、この施設の計画や機能を把握していないと、さらに無責任な答弁を繰り返しました。(4面に)

日本共産党入間市議会議員

## 石田よしお市議会報告

(2016年4月号) 入間市上藤沢688-8

電話・fax 2964-4048 携帯070-5086-2075

ホームページ:「日本共産党入間市議団から石田よしお」へ



# 共産党と市民の運動がついに実り

## 第1回定例議会

# 小中学校のエアコン設置にむけた予算計上

日本共産党と市民団体「学校エアコン応援ネット」が取り組んできた小中学校へのエアコン設置にむけた予算がH28年度予算に計上されました。28年度設計業務、29年度工事、30年夏から稼働予定です。

共産党はH14年から議会で繰り返しエアコン設置を求め、市民と一緒に署名活動や市長への要請に取り組んできました。市民の願いがようやく実現されます。



共産党は市から提出された42議案のうち市民生活を応援する予算になっていないことから、28年度一般会計予算と国民健康保険特別会計予算の2議案に反対しました。

### 厳しい生活を応援する予算に

市は「雇用・所得が改善している」とアベノミクスを評価していますが、市民の平均所得は22年度323万円だったものが26年度309万円に14万円も減少。暮らしが厳しさを増しているのは明らかです。市の認識は市民の生活実態とかけ離れており、適切な予算編成ができているのか疑問です。

学童保育は定員を40人から45人に詰め込み保育で対応しています。労働条件改善による職員確保と施設整備を急ぐべきです。

その他、TPPによって厳しさを増す農業への支援が不十分であること、タクシー券廃止など福祉削減の予算になっていること、東町基地跡地の入間基地拡張を進めたこと、基地騒音調査の予算が盛り込まれていないことなどを指摘しました。

### 収入の1割を超える大きな負担

国民健康保険税は年収233万円の4人世帯で年額25万円を超えます。社会保障であるはずの制度が市民の生活を脅かす大きな負担になっています。共産党は、国保税の負担が重く市民が支払える限界を超えていること、低所得や所得減少などに対応する減免が不十分なことなどから、国民健康保険特別会計予算に反対しました。

### 戦争法廃止の願い大きく

基地拡張と戦時医療を担う自衛隊病院は、安倍内閣がすすめる「戦争法」の具体化です。「ストップ入間基地拡張！市民の会」は、市民の貴重な財産・東町側留保地を防衛省に渡してはならないとして、12月議会に7977筆の請願署名を提出。請願に賛成したのは共産党だけでしたが、市議会で基地跡地問題が議論され、市長の独断と各会派の態度も明らかにされました。

署名は今も寄せられており9000筆を超えています。「市民の会」は、運動を発展させて「戦争法廃止の2000万人署名」に取り組んでいます。民主主義と立憲主義を取り戻すために、共産党も運動に連帯します。

### 「次期総合計画・前期基本計画」への意見を提出

市が策定中の「次期総合計画・前期基本計画」「公共施設等総合管理計画」等では、人口減少を理由に学校や公民館などの統廃合や民間委託を打ち出しています。公の施設を民間施設と同等に効率性のみで捉え、公の責任の放棄につながります。公共施設の統廃合・民間委託は、地域の衰退を招くおそれがあります。

共産党市議団は、計画に対して「意見および見解」を提出。子どもを生き育て

ることが、自民党政治により困難にされている現状を直視し、人口減少の原因を分析し、市民に必要な施設やサービスを公の責任として守るよう要請。同時に入間市の将来に対する明確なビジョンを持ち、多くの市民や学識経験者、議会を交え議論すること、30年、50年後の計画を作ることに無理があり、目先のことにとられて決めるべきではないと強調しました。

### 数の力で「戦争法」を削除

石田議員の一般質問通告書の安保法・戦争法の「戦争法」部分が、議会運営委員会で議論し、議長の権限で削除されました。同時に質問の中での使用を制限しました。国会や県議会で使用されている言葉を本人の了解なしで削除することは、言論の自由や表現の自由に反することです。

安保法の実態から戦争法と呼ぶ国民の声を恐れての多数による暴挙です。

### 共産党議員の一般質問

小出わたる議員

消費税増税反対・やかん坂路側帯

石田よしお議員

病院北側に大規模自衛隊燃料施設

吉沢かつら議員

介護保険制度の改善・老後の安心

安道よし子議員

子育て応援のまちへ・騒音測定を

### 日本共産党市議会報告

2016年4月

発行/日本共産党入間市議団  
連絡先/電話・Fax2932-2840

石田よしお 2964-4048 070(5086)2075

安道よし子 2962-8082 090(4811)0553

吉沢かつら 2964-0208 090(3514)3077

小出わたる 2932-7884 090(6542)3883